



地球のためにできること

ジオパークに「蔵王」認定



ジオパークって知ってる？ 貴重な地形や地質、景観を持つ地域のことでだよ。今年1月、蔵王山（蔵王連峰）を中心とする「蔵王」地域が、日本ジオパークに認定されたんだ。（8面に関連記事）

きょうのテーマ

火山との共生 魅力伝える



宮城県蔵王町が面積の大部分を占める蔵王ジオパークは、西端に蔵王山、南に青麻山、東に大昔の噴火によってできた円田盆地があります。火山ならではの環境が、自然や人々の暮らしに影響を与えてきました。



ジオパークは国内に48カ所あり、県内は三陸、栗駒山麓、蔵王の3地域が認定されています。蔵



王町ジオパーク専門員の北川桐香さん(29)は「蔵王は国内でもエリア面積が小さいジオパークですが、火山との共生を多様な視点で学ぶことができます」と特色を話します。

蔵王ジオパークの場合、地形や歴史的背景から五つのエリアに分け、それぞれの価値や魅力を発信しています。例えば遠刈田エリアは昔から温泉地として栄えてきました。蔵王ジオパーク推進協議会の認定ガイドによるまち歩きツアーなども行われています。

「雨水が約2000万年前の地層を通り、温泉としてわき出てくる。背景や歴史を知ると、目の前の景色がより特別に感じられます」と北川さん。ジオパークには、「保全」「教育」「持続可能な開発」の三つの役割があり、活動内容は多岐にわたります。北川さんによると、蔵王ジオパークでは蔵王山に関する研究や高山植物の保護活動に協力するほか、県内の学校への出前授業、地形や地質、文化などの知識を生かした地元企業

の商品開発のサポートなどを行っています。



地球の活動や環境の変化で生まれた「大地の遺産」を守るため、私たちができることはあるのでしょうか。北川さんは「蔵王だったら御釜や温泉を楽しむことから始めてみて。併せて歴史や文化、地質などの情報を知り、地球や環境について考えてもらえたらうれしいです」と話しました。



①蔵王の魅力を語る北川さん
②「蔵王」ジオパークは面積約153平方キロ。東西に長く、高低差は1800mある

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

この日 何の日

◇13日(日) 大阪・関西万博が開幕

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、約160の国や地域、企業が大阪市の夢洲にパビリオンを出展。「空飛ぶクルマ」や人工知能(AI)を使う作曲体験など見どころいっぱい。10月13日まで。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どき
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 蔵王ジオパークセンター